

令和元年度 いでは文化記念館運営協議会 会議概要

○日 時 令和2年2月13日（木）9時30分～10時45分

○場 所 いでは文化記念館 2階レクチャールーム

○出席委員（順不同）

島津慈道、宮野直生（代理：阿部良一）、後藤赴司

○市側出席者

羽黒庁舎産業建設課：佐藤守課長、前田観光商工主査、宮本専門員

○指定管理者側出席者

羽黒町観光協会：國井儀昭事務局長、山崎安奈学芸員

○次第

※開会前に委員の委嘱状交付を実施

1 開 会

2 役員選任

3 会長挨拶

4 協 議

1) 令和元年度事業実施状況について

2) 令和2年度事業計画（案）について

3) その他

5 閉 会

○公開・非公開の別

公開

【会議の概要】

1 開 会

2 役員選任

- ・委員の互選により、会長に島津慈道氏、副会長に粕谷典史氏が選任された

3 会長挨拶（島津慈道氏）

4 協 議（議長=会長）

（1）令和元年度事業実施状況について

◆内容（報告：羽黒町観光協会）

- ・令和元年度いでは文化記念館事業実績
- ・令和元年度いでは文化記念館 入場 人数・売上

◆質問意見等

○若年層などの幅広い誘客について

[委員]

- ・（館では若い人の興味を引くように工夫しているようだが）そもそも小・中・高校生の興味と館のテーマとする山伏文化は中々かみ合わないのでは。
- ・近年の災害の増加などにより、昔の人の助け合いや信仰に対する考え方が着目されているので、そういう時代の変化に結びつけた展示を考えると、明治時代や戦前戦後など、本当の歴史背景がよく知られていない分野に光を当てるとか、修験道に限らず、もっと身近なテーマや範囲の広いテーマをとりあげたらよいのではないか。

[観光協会]

- ・来館者を見ていると、高校生も地元の歴史文化に興味を持っていないわけではないようだが、学校行事などその場限りで、広がりが少ないという事だと思う。
また、目で見て楽しめるような催しが少ないので、反応が薄いという問題もある。
過去に妖怪をテーマにして企画展をした時は、子供も多数来館した。また、東北大学の学生がインバウンド向けに東北の文化を取り上げたカードゲームを開発するそうだが、五重塔や山伏も題材に含まれるらしい。正確さには欠けるが、これからの時代、そういった伝え方も必要と考えている。
- ・様々なテーマを取り上げることについては、観光協会だけでは難しい部分もあるので、関係者に協力をいただきながら検討したい。

[委員]

- ・最近では小・中学生等の入館料は無料にする博物館が増えているようなので、そういった取り組みをしてもよいのではないか。

[観光協会]

- ・現在も市内の小・中・高校生の団体を無料にするなど、各種減免基準に該当すれば無料としているが、それ以外は大人の半額である200円をいただいている。
子供を無料にしても必ず大人がついてくると考えれば、それも一つの考え方だが、条例の改正なども必要なので、市と協議しながら考えたい。

（1）について承認されました。

(2) 令和2年度事業計画(案)について

◆内容(報告:羽黒町観光協会)

- ・令和2年度いでは文化記念館企画展示(案)
- ・令和2年度いでは文化記念館事業(案)

◆質問意見等

(2)について承認されました。

(3) その他

・報告事項

- ①施設使用料の改正(R1.10.1~)
- ②駐車場の一部拡張(R1.9.30完成、約15台分)
- ③日本遺産ウィーク2020 in 鶴岡(2/11は館内無料開放)
- ④翻訳機の導入(予定) など

5 閉 会